

予算要求課	清見支所 基盤産業課	内線 3231
-------	------------	---------

金額の単位は、千円

款	6 商工費	項	2 観光費	目	1 観光振興費
事業名	62199	ひだ清見イベント開催事業			

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	5,500	5,500	5,300	枠配分の調整による	5,300	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	5,500	5,500	5,300		5,300	

以下は要求時の内容

事業の目的			
観光イベントの開催			
事業概要			
清見クラフト展、ラベンダーフェア、ひだ清見紅葉まつり、ひだ清見雪まつり (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
ひだ清見紅葉まつり参加者数(人)	9,000	9,000	10,000
ひだ清見雪まつり参加者数(人)	1,500	1,500	1,800
成果			
地域の住民がイベントの重要性を感じることで今後の企画、誘客意識を高める事ができ更なる地域の活性化が図られる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
清見の特色(飛騨牛・雪・星)を活かすイベントとして観光客の誘客増加と畜産を核とする産業の活性化のため継続する。			
市長の約束			
1 積極的な観光振興策を実施します 観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。			

事業実施の課題	① 支所
	本事業は、清見地域の最大の催しであり、地域の連携と地場産業のPRに生かされている。 今後、さらに地域産物のPR活用を行い、地域力向上に結びつけるとともに実施の効果についても検証する必要がある。
	② 本庁所管課 (観光課)
	誘客促進と地域産業の振興を図りつつ、各イベントの整理・統合を進める。
	③ 地域政策課
	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容等の精査を行うとともに、継続について地域と十分調整する必要がある。

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 基盤産業課	内線 3231
-------	------------	---------

款	6 商工費	項	2 観光費	目	1 観光振興費
事業名	62199 せせらぎ街道キャンペーン推進事業負担金				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	800	800	800	要求どおり	800	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	800	800	800		800	

以下は要求時の内容

事業の目的			
せせらぎ街道の観光客誘致			
事業概要			
景観維持事業、観光キャンペーン事業 (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
観光キャンペーン実施回数(回)	1	1	2
植樹作業(回)	1	1	1
成果			
せせらぎ街道の景観を維持することにより、新緑、紅葉時をはじめとしてドライブコースとしての認知がされている。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針			
会が郡上市と連携し活動することが、高山市への誘客推進につながると考えられるので継続する。			
市長の約束			
活力ある街を創ります			
1 積極的な観光資源策を実施します。 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

事業実施の課題	① 支所
	せせらぎ街道を道路としてのみならず、観光資源として活かすため、岐阜県・郡上市・民間と連携した保全及び誘客活動が必要。
	② 本庁所管課 (観光 課)
	滞在・周遊型観光を促進するために、地域間で連携した誘客事業を進める必要がある。
	③ 地域政策課
	飛騨美濃有料道路が無料開放となった好機とし、これまで以上に積極的な連携が必要。

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	体育総務費
事業名	95199	地域スポーツ振興事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		380	380	380	要求どおり	380	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	380	380	380		380	

以下は要求時の内容

事業の目的			
様々なスポーツを通じて健康な体づくりと、地域や団体の連帯を強化することにより活力ある地域づくりに資する。			
事業概要			
清見地区社会教育推進委員会が行う体育事業への助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助件数(件)	1	1	1
成果			
地区社教が中心になり地域独自のスポーツ大会を企画運営し、地域づくりや健康づくりに役立っている			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地区社教の活動全般について検討しつつ、地域活性化のためには引き続き助成が必要と考える			
市長の約束			
4. 個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます			

事業実施の課題	① 支所 市大会への参加を促すなど、全市的な交流も含め開催内容の整理が必要である。
	② 本庁所管課 (スポーツ振興課) 地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算事業の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
	③ 地域政策課 同上

金額の単位は、千円

予算要求課	清見 支所	地域振興課	内線 3221
-------	-------	-------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	文化振興費
事業名	94699		生涯学習作品展及び芸能発表会助成事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,500	1,500	1,500	要求どおり	1,500	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	1,500	1,500	1,500		1,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域に根ざした芸能文化の振興を図る			
事業概要			
生涯学習作品展、芸能発表会の開催に対する助成			
計画・実績・見込		H21実績	H22見込
生涯学習作品展 出展作品数(点)		194	430
芸能発表会参加者数(人)		300	300
		H23計画	
			300
			300
成果			
公民館活動団体および小中学生などの作品展示や、芸能発表の機会を提供することによる活動意欲の推進 幅広い世代を交えた多くの住民の交流と文化意識の向上			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地域住民が協働で開催する事業であり、文化意識の向上を図るためにも今後の継続について検討する。			
市長の約束			
心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ広げていく。			

事業実施の課題	① 支所
	地区社教により目的に沿った事業が行われている。しかし出展者や出演団体の減少や偏りがみられ、会場の準備等も関係者が高齢化しており、社教への取り組みや事業の運営方法について見直しが必要と考えられる
	② 本庁所管課 (生涯学習課) 地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、文化芸術鑑賞事業を市内にある一定規模以上のホール等を含めた事業として拡大展開を検討しているため、文化芸術鑑賞事業と地域文化振興事業との関係を整理する必要がある。また、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化についても検討する必要がある。
③ 地域政策課	
	同上

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線
-------	------	-------	----

款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費
事業名	31399		老人クラブ活動費助成事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	420	420	420	要求どおり	420	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金	150	280	280		280	
起債						
その他						
地域振興特別予算	270	140	140		140	

以下は要求時の内容

事業の目的			
老人クラブの高齢者の生きがいや健康づくり、地域におけるボランティアなどの自主的な活動を支援する。			
事業概要			
各区長寿会の運営を支援するため、事務局設置に係る経費を助成する。			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
会員数(人)		747	759
単位クラブ数(クラブ)		13	13
			H23計画
			759
			13
成果			
高齢者の健康づくりや生きがいづくり			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動のより一層の充実と活発な取組みのため、一般会計予算へ移行。			
市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。 5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制の整備します。			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (高年介護課)
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
事業名	94199		花づくり推進事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	3,300	3,400	3,400	要求どおり	3,400	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	3,300	3,400	3,400		3,400	

以下は要求時の内容

事業の目的			
基幹道路沿いのロード花壇管理を地域ぐるみで取り組み、地域全体のイメージアップにつなげるとともに、地域の絆を深めることに貢献する。 清見地内に自生している絶滅危惧Ⅱ類(環境省)であるサクラソウの保存育成を行う			
事業概要			
花いっぱい運動(花苗購入) 地元の花(サクラソウ)の保存育生と普及 花壇植栽管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
実施町内会(地区)	14	14	14
植栽本数(本)	70,000	62,500	62,500
サクラソウ植栽本数(本)			200
成果			
・町内の環境美化と地域連帯感の更なる向上 ・清見地内に自生している絶滅危惧Ⅱ類(環境省)であるサクラソウ育生と普及			
要求額増減理由			
かつて清見地内に群生していた「サクラソウ」を清見の花として増殖することを目指して自生株から増やした苗の購入を加えたため			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
環境美化のみでなく地域の連帯感向上につながる事業でもあり、今後の継続を検討。			
市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。			

事業実施の課題	① 支所
	幹線道路沿線のロード花壇については、人口減少や高齢化などにより地域での維持管理が困難となっている。管理委託費を削減するためには、花の種類に多年草を取り入れるなど、管理業務に対する住民の負担軽減を考慮する必要がある。
	② 本庁所管課 (市民活動推進課)
	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、花いっぱい運動に対する各種事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 地域振興課	内線 3221
-------	------------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業名	94799	ひねりの舞、伊勢神楽保存事業補助						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	90	90	90	要求どおり	90	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	地域振興特別予算	90	90	90		90

以下は要求時の内容

事業の目的			
無形民俗文化財の保存と伝承者の育成を行う団体に助成することで、伝統芸能の保存と伝承を推進する			
事業概要			
市指定無形民俗文化財となっている、「ひねりの舞」と「伊勢神楽」の保存と後継者育成を行なっている2つの団体に対し活動費を助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
伝統芸能保存団体数(団体)	2	2	2
成果			
市指定無形民俗文化財の保存と後継者育成の重要性の再認識ができる			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
文化財保護の観点から継続して助成し、H26年度以降一般予算へ移行の検討を行う。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所	年次計画ではH26年度終了であるが、継続的な支援活動が必要と思われる。
	② 本庁所管課 (文化財課)	各地域の伝承芸能保存活動に対しては引き続き継続的な支援活動が必要と考えているが、その方法については検討が必要。
	③ 地域政策課	

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業名	94799		天然記念物環境保全事業					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		250	1,103	1,100	要求どおり	1,100	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	250	1,103	1,100		1,100	

以下は要求時の内容

事業の目的			
市指定天然記念物「小鳥峠の湿原植物群生地」の環境保全対策			
事業概要			
湿原周辺の草刈りボランティアへ草刈り刃の支給及びオオハンゴンソウ除去 湿原植物保護のための現地調査等委託 獣害(イノシシ)対策としての柵の購入と設置管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
除草作業数(回)	2	2	3
獣害柵設置数(箇所)			1
植生作業数(回)			1
成果			
小鳥湿原の特定外来生物「オオハンゴンソウ」繁茂の抑制、獣害(イノシシ)対策 湿原植物の保護			
要求額増減理由			
湿地と植物の現地調査等を行う(23年から複数年計画)			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
専門家による小鳥湿原保護の考証を行ない、保護管理の方針を明確にする			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	湿原保護の方針を明確にする計画であるが、それ以前に獣害による絶滅が危惧されるのでその対策は行う必要がある
	② 本庁所管課 (文化財課) 早急な保護対策が必要である。
③ 地域政策課	

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業名	94799		文化財標柱設置事業					

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,500	630	600	要求どおり	600	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	1,500	630	600		600	

以下は要求時の内容

事業の目的			
文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。			
事業概要			
指定文化財のうち石製標柱による案内が必要な箇所を選定し設置			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
石製標柱設置数(箇所)	6	8	3
成果			
指定文化財の周知と文化財保護の意識高揚			
要求額増減理由			
設置本数の減少(最終年度のため)			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
23年度終了			
市長の約束			
国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切にする語り部の育成に取り組めます。			

事業実施の課題	① 支所
	20年度から4ヶ年で進めてきた事業で、地域内の指定文化財から選定したものは完了する予定 今後は住民への周知や文化財保存の意識を高める活動を展開する
	② 本庁所管課 (文化財課) 計画に基づき実施する。
③ 地域政策課	

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	基盤産業課	内線	3231
-------	------	-------	----	------

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
事業名	72199		市道未登記用地測量事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	10,000	2,000	10,000	年次計画額とする	10,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	10,000	2,000	10,000		10,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
未登記路線の整備 (旧町村時代に、未登記のまま道路整備した路線の登記整理)			
事業概要			
市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
未登記解消(路線数)	1	4	2
成果			
地権者による道路封鎖や売買時の権利問題等の解消			
要求額増減理由			
調査箇所の減			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
重要路線の未登記処理は平成26年度までに終える			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	未登記路線を計画的に整備しているが、地権者の権利関係が複雑となり登記完了に支障をきたしている。
	② 本庁所管課 (維持課)
	重要路線の未登記処理は平成26年度までの完了を目的に計画的に実施することとしているため、当業務の重要性を認識の上、予算要求年度において計画額よりも減額した場合は、次年度以降に調整し進捗量の維持を図ること。
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線	3231
-------	------	-------	----	------

款	5	農林水産費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
事業名	51399		清見グリーンツーリズム推進事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	3,600	3,634	3,600	要求どおり	3,600	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	3,600	3,634	3,600		3,600
地域振興特別予算	0	0	0		0	

以下は要求時の内容

事業の目的			
グリーンツーリズムの推進			
事業概要			
ひだきよみ自然館の運営 清見地域の自然体験施設等とタイアップした自然体験活動講座の開催			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
タイアップ体験講座の開催(回)		5	9
成果			
インタープリターを育成することで、グリーンツーリズムが一層推進される。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
グリーンツーリズムを推進し体験施設の充実を図る			
市長の約束			
1. 積極的な観光振興策を実施します 飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズムに加え、産業と一体となった新たな旅行スタイルを生み出します。			

事業実施の課題	① 支所 施設の有効利用を図るため、平成24年度に施設譲渡を行う。
	② 本庁所管課 (農務 課) 平成24年度にひだきよみ自然館を民間へ譲渡予定
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		地域次世代リーダー育成事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,000	1,000	1,000	要求どおり	1,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	1,000	1,000	1,000		1,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
行政主導による地域づくりから、住民による地域振興を図るためのグループとそのリーダーを育成する			
事業概要			
「清見のまちづくりを考える会」を基盤として、住民が地域づくりに取り組む活動を構築する			
・地域活性化アドバイザーによる指導			
・住民による地域への参加意識を高め、地域をけん引する若者グループの育成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
住民意見交換会(回) 地域の有志による組織づくり	2	3	3
成果			
・住民が共通の問題意識を持つことにより、地域づくりに取り組み自立する			
要求概要			
「清見のまちづくりを考える会」への業務委託 地域グループによる新たな活動組織の結成とその育成			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業		
事業の今後の方針			
平成25年度を目標に、地域の有志による地域活性化のための活動グループ育成と自立をめざす			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所 住民の地域参加への意識改革がこの事業の第一歩と考える。それと同時に、参加する場の提供をしかける手法と課題を検討しつつあるが、人を動かし人を育てるには地道な活動が必要であり、今後は住民参加型への事業展開が必要である
	② 本庁所管課 (地域政策課) 過去の実施内容の検証が必要
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	基盤産業課	内線 3231
-------	------	-------	---------

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62199		ひだ清見お帰りキャンペーン事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費		H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,500	4,000	4,000	要求どおり	4,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	起債						
	その他						
	地域振興特別予算	3,500	4,000	4,000		4,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
広域観光誘客の推進(荘川・清見連携事業)			
事業概要			
誘客キャンペーン、交通量調査及び分析、案内マップ作成 (事業実施団体への負担金)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
誘客キャンペーン実施回数(回)		2	2
交通量調査回数(回)	1	1	1
成果			
荘川地域と清見地域の観光連携を図ることにより地域の活性化が図られる。			
要求額増減理由			
荘川清見の連携を強化し、観光誘客企画及び案内サービス等を充実させるための事業を拡大した。			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
荘川清見地域の観光協会の連携を図る。	
市長の約束	
1 積極的な観光振興策を実施します。 観光価値づくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。	

事業実施の課題	① 支所
	荘川、清見共、今まで独自のエリアでの観光キャンペーンを展開してきていることから、統一した取組意識をもっていないことに課題がある。
	② 本庁所管課 (観光課)
	滞在・周遊型観光を促進するために、地域間で連携した誘客事業を進める必要がある。
	③ 地域政策課
	事業効果を十分に検証し、今後の事業に反映させることが必要。

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線	3231
-------	------	-------	----	------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		清見地域再発見事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,000	1,000	1,000	要求どおり	1,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	1,000	1,000	1,000		1,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域力向上のため、地域の魅力の再発見及び、地域資源の発掘を行う。			
事業概要			
飛騨牛発祥の地、清見としての清見地域ブランドを確立するため飛騨牛の歴史や味を体験するツアーを企画し、実施する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
地域再発見ツアー(回)		2	2
成果			
飛騨牛の基礎知識を学ぶことで、地域住民及び消費者があらためて重要な地域資源であることを認識し産業振興と生産・消費拡大に結びつけることができる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
地域活力向上のため、地域の魅力の再発見、地域資源の発掘を行うためH24まで継続する。	
市長の約束	

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 基盤産業課	内線 3231
-------	------------	---------

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	7	快適環境整備費
事業名	74799	せせらぎ街道スポット整備事業						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	4,000	4,013	4,000	要求どおり	4,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	4,000	4,013	4,000		4,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
せせらぎ街道は、東海地方でも有名なドライブコースであり、観光道路となっている。高山市合併後、高山市の南の玄関口として、道路利用者の増加をはかるため沿道の景観保全事業を行う。併せて、沿線の清見運動公園周辺にある高木の枝処理を行うことで、施設周辺の景観保全に努める。			
事業概要			
景観保全事業 高木(ケヤキ・カツラ)の枝処理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
せせらぎ街道保全	老朽看板撤去	除間伐	高木枝処理 広場整備
成果			
街道沿線の景観保全			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針			
せせらぎ街道の保全とあわせ、訪れた方々の簡易な休憩場所を確保し整備を行なう			
市長の約束			
活力ある街を創ります 1 積極的な観光資源策を実施します。 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します			

事業実施の課題	① 支所
	せせらぎ街道沿線は県道敷地や不在地主がほとんどであり、岐阜県や地主と連携をとって一体的に整備する必要があるが理解を得るのが困難となってきている。
	② 本庁所管課 (都市整備課)
	必要な整備範囲を明確にしたうえで、県や地主と調整する必要がある。 運動公園などの高木剪定(管理)は、本来、当該施設の維持管理費用として計上すべきである。 地域振興特別予算終了後の取り扱いを検討する必要がある。
	③ 地域政策課
	樹木花等の植栽、雑草の除去など地域振興特別予算で措置されている類似事業について、景観保全、安全の確保など全市的な検証を行い、早い時期に方向性を出す必要あり。

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	9	教育費	項	3	教育総務費	目	3	学校整備費
事業名	93399		清見中学校進入路改良事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		10,000	10,000	要求どおり	10,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	地域振興特別予算		10,000	10,000		10,000

以下は要求時の内容

事業の目的			
清見中学校進入路を拡幅し、歩道部分と車道部分を確保することで、登下校時における生徒の安全を図る			
事業概要			
中学校進入路のグラウンド側路側帯(法面)を、L型擁壁や自由勾配側溝の設置によって路面の有効利用を図る 延長=64m(L型擁壁部分30m, 自由勾配側溝部分34m) 有効利用幅員=現行4m⇒改良後5m			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
清見中学校進入路改良延長(m)			64
成果			
拡幅することによって、生徒の登下校時における安全を確保できる			
要求額増減理由			
新規事業			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
23年度の単年度事業 路面の有効活用により、将来にわたって登下校時の生徒の安全を図ることができる	
市長の約束	

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (教育総務課) 事業に必要な土地は進入路の法面であるため、グラウンド利用については支障がないと考える。
	③ 地域政策課 一部の施設の利便性向上であるため、地域振興特別予算で対応することとした

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 地域振興課	内線 3211
-------	------------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		地域おこし協力員活用事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,000	3,500	他支所地域おこし協力員と同一	3,500	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算		3,000	3,500		3,500	

以下は要求時の内容

事業の目的			
大原地区に意欲ある都市住民(若者等)を「地域おこし協力員」として委嘱し、地域で活動する団体等と外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策を提案、実施することで地域の活性化を図り、地域力の維持、強化に資する。			
事業概要			
主に次の地域活動を地域の核となる住民組織と協働で取り組む			
・地域資源の調査・整理 ・地元施設の有効活用法と交流人口の増加			
・地元農産物の新しい活用法の提案と販売促進活動 ・地域自然環境保全活動			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
地域おこし協力員(人)			1
成果			
・地元資源及び施設を有効活用することで都市交流人口の増加による地域活性化を図る。			
・地域の人たちとの交流を通して、住民に新たな視点で活力を与える。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
地域協力活動終了後においても、地域力の継続的な維持強化を図るため、地域への定住、定着を促す。	
市長の約束	
合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。	

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策 課)
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 基盤産業課	内線	3231
-------	------------	----	------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
事業名	21100		簡易水道配管網図整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		7,172	5,000	積算内訳を精査	5,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算		7,172	5,000		5,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
簡易水道施設の適正な管理			
事業概要			
清見地区の簡易水道管網図作成業務(川上、彦谷、大原、巢野俣)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
管網図作成業務委託(km)			79
成果			
漏水事故等水道関係の事故処理等が、迅速確実に行える。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け	
A 合併前から実施されているイベント・行事	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	D その他の事業
事業の今後の方針	
H23年度完了予定	
市長の約束	
6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・安心安全な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。	

事業実施の課題	① 支所 管網図が整備されていないため緊急時の対応に支障をきたしている。また、民地に布設されている場所があるため、所有者の同意が必要となる。
	② 本庁所管課 (上水道 課) 平成元年以降に整備した巢野俣・楢谷・彦谷地区には管網図がないことから、当時の担当者や施工業者の情報に頼っている。また、それ以外の地区の管網図は規格が統一されおらず、更新作業も行われていない。これらを統一して整備することで、緊急時に誰もが正確な管路の埋設状況を得ることが可能となることから、必要な事業である。
	③ 地域政策課

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線	3231
-------	------	-------	----	------

金額の単位は、千円

款	5	農林水産費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
事業名	51399		新規就農者研修施設管理事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	200	200	200	要求どおり	200	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他	120	200	200		200	
地域振興特別予算	80	0	0		0	

以下は要求時の内容

事業の目的			
新規就農希望者に研修施設を提供することにより、就農者の増加を図る。			
事業概要			
新規就農者研修施設の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
新規就農者研修施設入居世帯数(世帯)			
単身用	2	1	2
世帯用	1	1	1
成果			
地域内に就業・移住することにより、地域の活性化と各伝統行事等の存続が図られる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
新規就農希望者には、唯一の研修宿泊施設であり継続する。			
市長の約束			
3産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します			
農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを生かして、技術と経営の一体的な確立を図り次代につながる産業に育てるため、人材育成(後継者育成・新規就農者獲得・就農体験・研修制度)、農商工連携による第6次産業化などの施策を、農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ総合的に実施します。			

事業実施の課題	① 支所
	農業への従事を希望する者への支援施設として設置しているが、施設の使用期間満了後、就農や新たな住居の確保が難しい状況にある。
	② 本庁所管課 (農務 課)
利用者は研修期間終了後、独立して営農していくことが原則である。はじめての3年間の研修期間に、農業者に対する各種支援制度を紹介・活用し、定住の促進を図る。	
③ 地域政策課	
積極的に活用されたい。	

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所 基盤産業課	内線 3231
-------	------------	---------

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	7	快適環境整備費
事業名	74799		幹線道路沿線環境整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	2,000	2,000	2,000	要求どおり	2,000	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	地域振興特別予算	2,000	2,000	2,000		2,000

以下は要求時の内容

事業の目的			
県立自然公園であるせせらぎ街道等、清見地内幹線道路の沿道周景事業を実施し、高山市南西部の玄関口として来訪者に景観を提供することにより、心象を良くし交流人口の増加を図る。			
事業概要			
幹線道路沿線の草刈			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
幹線道路沿線の草刈(km)	30	30	30
成果			
沿道周景事業を行うことにより「せせらぎ街道県立自然公園」等の景観が保全され観光客の増加につながる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
景観を保全するために継続する。			
市長の約束			
活力ある街を創ります			
1 積極的な観光資源策を実施します。 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

事業実施の課題	① 支所
	毎年せせらぎ街道の整備をボランティアと本事業で実施しているが、ボランティアの高齢化等で作業面積が減少し、本事業で行う面積が拡大している。
	② 本庁所管課 (都市整備課)
	地域振興特別予算終了後の取り扱いを検討する必要がある。 整備範囲をボランティアの可能な範囲に見直す検討も必要である。
	③ 地域政策課
	樹木花等の植栽、雑草の除去など地域振興特別予算で措置されている類似事業について、景観保全、安全の確保など全市的な検証を行い、早い時期に方向性を出す必要あり。

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	3	スクールバス管理費
事業名	91499		中学校部活動通学支援事業					

新規	継続	拡大	縮小
			○

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	700	173	180	要求どおり	180	財務部査定どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	700	173	180		180	

以下は要求時の内容

事業の目的			
清見中学校部活動のため通学距離6km以上の生徒を対象にしたバス券購入			
事業概要			
中学校部活動実施にあたり、遠距離通学生徒が公共交通機関(バス)を利用する際のバス券購入に対する助成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
バス券購入(人)	35	35	39
成果			
バス券購入補助による保護者負担の軽減と、円滑な部活動が実施できる			
要求額増減理由			
公共交通体系の見直しによる料金変更が行われる予定のため			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
広いエリアをもつ清見地域において重要な支援である。公共交通の見直し等によりスクールバスの利用を行わず、公共交通にて対応するなど他のスクールバス利用生徒との均衡も含め、全市的な調整が必要である。			
市長の約束			

事業実施の課題	① 支所
	クラブ活動を教育の一環として取り組むか否かで、今後の市の補助対応については全市的に協議が必要であるスクールバス運行とも併せて、遠距離通学(学校まで6km以上)生徒への補助は必要である
	② 本庁所管課 (教育総務課)
部活動の送迎については、市内3地域で実施しており、以前の経緯から生徒の交通手段を確保するために運行の必要がある。部活動への参加にかかる負担を減らすために実施しているもの。今後、市内の部活動に伴う交通手段の確保について均衡を図るため、検討する。	
③ 地域政策課	
スクールバス利用についての考え方を調整する必要あり。	

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		地域振興事業補助金					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	4,000	3,000	3,000	要求どおり	3,000	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	4,000	3,000	3,000		3,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する。			
事業概要			
地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業への補助			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助金交付件数(件)	17	15	13
成果			
市民の創意と工夫によって魅力ある地域づくりが推進できる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
引き続き継続する。			
市長の約束			
「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

地域振興特別予算 事業別予算概要

清見支所

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	地域振興課	内線 3221
-------	------	-------	---------

款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
事業名	20999		地域要望対応事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	6,000	7,000	3,000	枠配分の調整による	5,000	事業内容を精査
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算	6,000	7,000	3,000		5,000	

以下は要求時の内容

事業の目的			
市有施設で地域からの要望に即応するためのもの			
事業概要			
市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
実施箇所(箇所)	13	20	25
成果			
安全・安心・快適な住環境づくりと特色ある地域づくり・地域活性化に資する。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
引き続き継続する			
市長の約束			
合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします			

事業実施の課題	① 支所
	② 本庁所管課 (地域政策課)
	③ 地域政策課

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	基盤産業課	内線	3231
-------	------	-------	----	------

款	6	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費
事業名	62399		大原地域活性化事業					

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,000	2,400	積算内容を精査	2,400	財務部調整どおり
財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
地域振興特別予算		5,000	2,400		2,400	

以下は要求時の内容

事業の目的			
グリーンツーリズムの推進			
事業概要			
大原地域の市遊休施設(パスカル清見)を活用し、既存の体験施設(おっばら体験施設)との連携を含め、地域全体でグリーンツーリズムを推進する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
体験事業参加者数(人)			
おっばら体験施設	760	1,000	1,200
パスカル清見の活用			300
成果			
おっばら体験館やパスカル清見を活用し、地域が主体となってグリーンツーリズムをさらに推進することで、雇用拡大などにより地域の再活性化が期待できる。			
要求額増減理由			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
地域に活力を付け、公共施設等を有効活用することにより雇用の場の確保と地域力向上を図る。			
市長の約束			
10市民のための行政改革を断行します。 市の施設や支所の改修を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。			

事業実施の課題	① 支所
	大原地域は、過疎化が進み集落機能が低下している。事業を拡大実施する場合には主体となる人々の意識強化が重要な課題である。
	② 本庁所管課 (観光課)
	地域力を高める取り組みの中で、市の休止施設を有効に活用することが重要である。
	③ 地域政策課
	大原地区の活性化に向けた具体的な振興策、方向性を地域とともに定めた上で、パスカル清見のあり方について検討が必要。

地域振興特別予算 事業別予算概要

金額の単位は、千円

予算要求課	清見支所	内線 3221
-------	------	---------

款	項	目
事業名		

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費	H22当初予算額	H23要求額	財務部調整額	財務部の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	5,837	5,837	5,887	市基準額を超えた土地借上分の増	5,887	財務部調整どおり
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
地域振興特別予算	5,837	5,837	5,887		5,887	

以下は要求時の内容

事業の目的			
施設用地借上			
事業概要			
市の基準単価を上回る土地賃貸借			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
施設用地 (㎡)	26,944	26,944	26,944
成果			
要求概要			

特別予算としての位置付け			
A	合併前から実施されているイベント・行事	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	D	その他の事業
事業の今後の方針			
市長の約束			

事業実施の課題	
土地賃貸借単価が市の基準を上回っており調整が必要である。	
課題の考え方	① 本庁所管課 (観光課) 施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
	② 地域政策課 基準額内の借地料となるよう精力的に交渉する必要がある。